

# ポイントを押さえた乳房炎対策を

乳房炎は、乳牛の生産性の低下だけでなく、経済的損失や作業者の精神的ストレスにも繋がります。限られた労働力や作業環境のなかで乳房炎を予防するためには、主に右の3つのポイントが大切になります。

今月号では「環境」について取り上げます。乳牛をとりまく「環境（糞尿など）」から乳房内への細菌の侵入を防ぐためには何に気をつけるべきでしょうか。



## 乳房が汚れる=乳房炎のリスク増加

乳房や肢蹄の汚れは、体細胞数と関係があるといわれています。そこで、根室管内の酪農場において、乳房の汚れスコアと体細胞数を調査しました。図1より、乳房が汚れていると体細胞数も高くなっており、牛体が汚れるほど乳房炎にかかるリスクも高くなるといえます。



## 乳房の汚れはどこからくるのか？



乳房の汚れは、牛体の他の部分（肢蹄や尻尾）、牛床、通路、壁、パドックや牛道のぬかるみなどから付着します。

これらの箇所を清潔にすることで、乳房が細菌にさらされる危険性が低くなります。

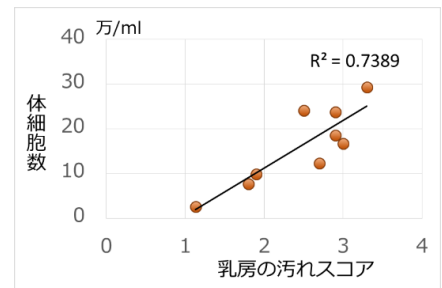


図1 乳房の汚れスコアと体細胞数の関係 (H27 普及センター調べ)

## 今からできる「低コスト」対策事例

カウトレーナーの設置、敷料の投入量増加などの他に低コストでできる対策事例を紹介します。



除糞作業は最も低コストな対策です。糞かき棒を数ヶ所に配置し、気がついたら直ぐに除糞できるように工夫しましょう。



尻尾の汚れは乳房や乳頭に付着しやすいです。バーンクリーナーや通路の糞尿に尻尾が触れることを防ぐために、尻尾を吊ることは効果的です。



スクレーパーの稼働回数を増やすことで、通路に溜まる糞尿の量が減ります。また、スクレーパーをまたぐ牛の足の汚れも少なくなります。